

## R E M 活 動 趣 旨 書

平成17年7月策定

- 1 活動趣旨 福井県内において救急、救命に関し、広く一般市民（町民）に普及、啓蒙活動を行うもので、参加するものはその職域を問わず、一市民（町民）としてボランティア参加とし、安全、安心な街づくりに寄与することを、その趣旨とする。
- 2 参加者 救命に関し深い理解と普及啓発活動に意欲のある者とする。
- 3 活動区域 福井県内を活動区域とする。
- 4 活動内容 当分の間、下記の活動を実施する。
  - (1) 自転車救命隊（F・R・T）  
F R T・・・ファーストレスポonderチーム（第1応答者）  
県内のマラソン大会等において、自転車に応急手当物品を積み込み参加ランナーに不測の事態が発生した場合、自転車の機動力及び無公害（クリーン）のイメージを活かし、第1番目に駆けつけ、応急手当を実施し、救急システムに引き継ぐことで、大会参加者に安心して参加していただくことを目的とします。
  - (2) 応急手当普及啓発活動  
地域における住民の応急手当の普及拡大を目的とし、救命の重要性を啓発していくことで、いざというときに勇気を持って応急手当ができる人材を育成し、地域の救命率向上を目指します。
  - (3) 命を守る着衣泳普及活動  
海、河、湖と恵まれた環境の中で育つ反面、それがゆえに起こる水難事故に対し、自分の身は自分で守るという「自己保全」という考えの下に、青少年、学童に対し浮いて救助を待つという新しい考えから、着衣泳事業を進めていきます。
  - (4) 乳幼児の事故防止予防活動  
乳幼児の死亡原因の第1位は「不慮の事故」によるものです。特にママチャリ等の後部座席からの転落等による事故死が増えていますので、「ヘルメット着用キャンペーン」を行政とタイアップし実施したいと考えています。また、各地域の保育所に出向き啓発活動を進めていきます。
- 5 各種研修会の実施
  - (1) 自転車救命に関しては、MTB（自転車）等を活用することから、MTBの乗り方等について、講師派遣依頼し研修を実施します。
  - (2) AED等の心肺蘇生法に関しては、参加する医師、看護師、救急救命士により十分な指導を実施します。また、年数回のスキルアップ研修会を開催し、普及員及び会員のレベルの向上に努めます。
  - (3) 着衣泳事業については、指導員の下、受講生の安全管理面でお手伝い

をしていただきます。

- (4) 乳幼児の事故予防については、行政、保育関係者と合同の研修会等を開催し、会として、できる範囲でタイアップしていきます。